

# 唐泊

唐泊は「からとまり」と読み、昔「からこ」や「からいづ」と呼ばれていたと言われています。

現在では、福岡市西区にある宮浦地区の漁村・漁港部分の総称として呼ばれています。

## 一、「唐泊恵比須」の由来

「二」唐泊にある臨濟宗東林寺(栄西禅師により開かれたと言われている)には、昔『龍神さま』と『えびす様』が一緒に祀られていましたが、後になって「蛭子崎(現：唐泊崎)」に「恵比須神社」を建立して移転させたと語り継がれています。また、「筑豊沿海志」や「北崎村誌」に記載されている、福岡市西区唐泊は、蛭子崎東(えびすざきひがし)に位置し、恵比須神社は夷崎(えびすざき)字櫛(あざくし)にあると記載されています。このような歴史のある地名を後世に残すために、『唐泊恵比須』と名付けました。

## 二、「かき養殖」の始まり

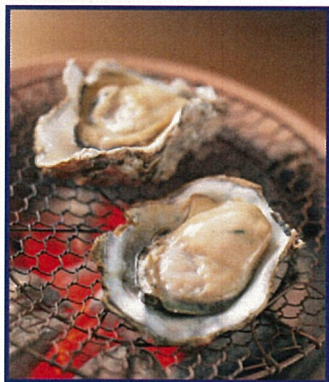
唐泊漁港では、冬漁の主幹魚種であるカタクチイワシの漁獲量が低迷したため、名物であった「煮干しイリコ」を安定生産できなくなり、カタクチイワシ漁から撤退し、二〇〇一年(平成十三年)からマガキ養殖に着手しました。現在、イワガキ養殖も行っています。

## 三、「唐泊恵比須かき」のこだわり

「唐泊(現地)で食べてもらおう」との思いから、かき小屋での販売に力を入れています。

かき小屋では、皆様に安心して食べていただくために、私たち漁協と漁業者が一体となって、直接管理・販売を行うとともに、ノロウイルス等の衛生検査も毎月実施することを徹底しています。そのため、安全性はどこにも負けないという自信をもって、皆さんに提供しています。

安全・安心の証は徹底された品質管理にあります

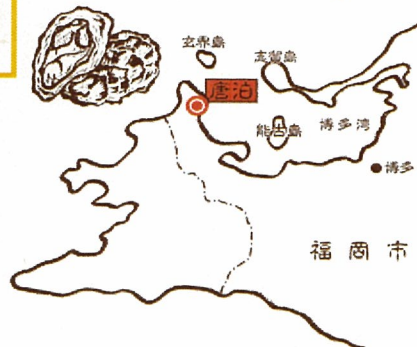


【紫外線殺菌装置】



■紫外線殺菌装置の設置及び24時間以上掛け流しを実施。

■衛生検査については、国からの基準と生食用かきの衛生対策通知などによる全項目とノロウイルス検査を毎月実施。





# 唐泊恵比須かきのあゆみ

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 平成13年 | 試験養殖開始                       |
| 平成14年 | 唐泊恵比須商標申請                    |
| 平成15年 | 唐泊恵比須商標登録                    |
|       | 区画漁業権取得                      |
|       | かき小屋スタート(仮設ビニールハウス)          |
| 平成18年 | 福岡県内でノロウイルスの風評被害が広がる！        |
|       | 「かき明太」が福岡市水産ベンチャー育成事業に認定される！ |
| 平成19年 | 9～10月に博多湾が高水温になり、7～8割のかきが死滅！ |
|       | 11月に本格的「かき小屋」オープン(福岡県初)！     |
| 平成20年 | 「かき小屋」が大反響！例年よりも早い2月初旬で終了！   |
|       | かき専用ポン酢「唐泊恵比須ポン酢」を発売！        |
| 平成21年 | 貽貝の付着が多く、かきの成長が遅れる。          |
|       | 平成18年以来となる5月までの営業と、すくい取りを実施！ |
| 平成22年 | 「佃煮」が福岡市水産ベンチャー育成事業に認定される！   |

## かき小屋について

- 〈営業期間〉・・・11月～3月(通常) ※かきの状況により前後します！
- 〈営業時間〉・・・11時～17時 ※16時30分オーダーストップ
- 〈定休日〉・・・木曜日 ※年末年始休暇(12月中旬に決定します)
- 〈焼台〉・・・80台
- 〈駐車台数〉・・・70台
- 〈収容人員〉・・・300人
- ※注意事項 ①飲食物の持込は禁止です  
②運転される方へのアルコールの提供はお断りします

かき小屋



唐泊恵比須かき



かき明太



かき佃煮



唐泊恵比須ポン酢



### 【問合せ先】

福岡市漁業協同組合 唐泊支所

[住所] 福岡市西区大字宮浦273-12

[電話] 092-809-2311

唐泊WEB <http://www.karatomari.jp/> (通販サイトもこちらから)